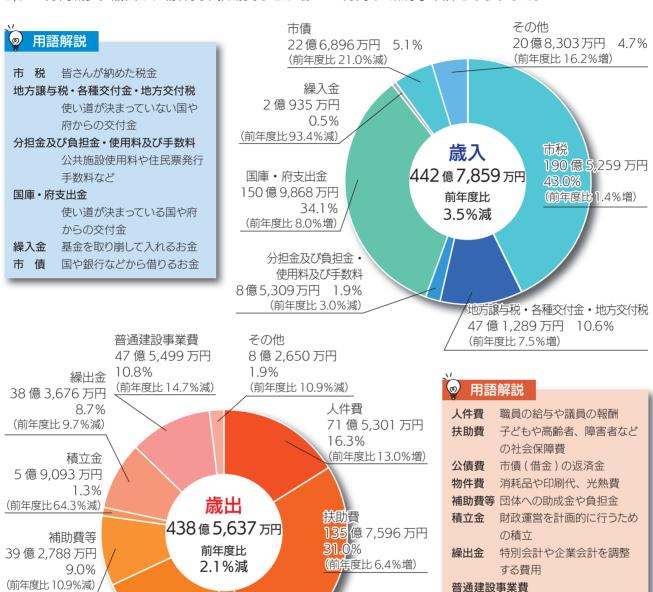
一般会計の決算

歳入は、市税や国庫支出金などが増加しましたが、 市債や地方交付税などが減少し、前年度から 15 億 9,317 万円減少。歳出は、物件費や扶助費などが増 加しましたが、建設事業費や公債費などが減少し、9 億 4,954万円減少。その結果、実質収支は2億9,642 万円の「黒字」決算となりました。



公債費

18億7,509万円 4.3%

(前年度比 24.4%減)

企業会計、特別会計の決算

73 億 1,524 万円 16.7%

(前年度比 13.8%増)

物件費

区分	歳入 / 収入	前年度比	歳出 / 支出	前年度比
企業会計※1	58.7 億円	1.6%	54.9 億円	0.4%
水道事業	21.3 億円	1.5%	19.5 億円	1.8%
下水道事業	37.4 億円	1.7%	35.4 億円	△ 0.4%
特別会計※2	197.4 億円	0.3%	181.4 億円	1.0%
国民健康保険	87.1 億円	△ 4.3%	87.0 億円	△ 3.6%
財産区財産	15.0 億円	2.5%	0.3 億円	9.1%
パートタイマー等退職金共済	0.08 億円	28.0%	0.08 億円	28.0%
介護保険	78.7 億円	3.1%	78.2 億円	4.5%
後期高齢者医療	16.6 億円	11.6%	15.7 億円	11.3%

※ R間企業同様、事業収益を経理 ※ 2 特定収入を特定支出に充当

経常収支比率 100%超えに

改修費



経常収支比率とは、市税など毎年度安定して入ってくる収入で、毎年度必要な経費をどれだけ賄えているかを示したものです。令和6年度の経常収支比率は101.0%(前年より2.5%悪化)となり、市税などの収入だけでは経常的な経費を賄いきれない状況となっています。

道路や学校などの建設費や